

Council of Social Welfare

大 淀 町

えがおで介護
こころのネットワーク
あんしんサポート

社協だより

平成26年
1月号



謹賀新年



赤い羽根共同募金
街頭募金の風景



発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会

〒638-0821 大淀町下淵1223番地 TEL 0747-52-1941

社協だよりは、共同募金の配分金により作成しております

新年のご挨拶



大淀町社会福祉協議会
会長 岡下 守正



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素から社会福祉活動の推進にご支援、ご協力賜っておりますこと厚くお礼申し上げます。

さて、昨今の厳しい社会情勢の中、急速な少子高齢社会の進行、雇用や生活の不安等、地域の結びつきや家族のきずなが希薄化する傾向が見られ、様々な問題が顕在化しております。こうした中、大淀町社会福祉協議会におきましては、「住み慣れた地域で、共に支え合い、幸せに暮らせるふくしのまちづくり」を法人理念に掲げ、地域福祉の主役である住民の方々とともに、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりを目指して取り組んでまいりました。

現在広がりを見せています「地域ふれあいサロン」、昨年七月に開設しました「ボランティアセンター大淀」等の地域福祉活動を通して、本年も大淀町にお住まいの全ての方々に参加し、協力し合える地域づくりを町民各位並びに関係団体のご協力のもとに推進してまいります。

また、平成二十六年には、「第二次地域福祉活動計画」の策定に入って参ります。今後とも、皆様方のさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十六年一月

民生委員・児童委員とは

～市民生活を支えるつとめ隊～



民生委員・児童委員のマーク

昨年12月1日、大淀町で新たに47名の民生委員・児童委員並びに、主任児童委員（以下、民生児童委員等という。）が委嘱されました。

民生児童委員等は、「民生委員法」と「児童福祉法」に基づき、厚生労働大臣から委嘱され、地域の中で常に住民の立場に立って、相談や必要な支援の橋渡しをするボランティアです。私たちのまちで一緒に生活しながら、その地域の最前線でご活躍いただいています。

歴史を遡ると、民生児童委員等は、大正5年に岡山県が設置した「済世顧問制度」、大正6年に大阪府が設置した「方面委員制度」が源であるといわれています。

当時は、生活困窮者の救済といったイメージが強い活動でした。しかし、近年の核家族化や生活様式の多様化等により、児童虐待や子育て不安の問題も増加しており、多方面での活動が期待されています。支援が必要なる方の見守り活動や相談支援、保育園と協働で赤ちゃんが生まれたご家庭を訪問する「こんちば赤ちゃん事業」も実施しています。

暮らしや生活に困ったときは、地区の民生児童委員等に気軽に相談ください。福祉への架け橋として大きな味方となっています。



災害に備えて

社協・災害ボランティアセンターの取り組み



近年の震災・災害を受け、人とのつながりの大切さを実感し、災害に対する意識が変化した方も多いのではないだろうか。

万が一、大地震、災害が起きてしまったら、行政機関やライフラインが大きく失われる可能性

があります。できる限り、自宅や住み慣れた地域での生活ができるよう自分自身でできること（自助）と身近な地域での支えあい（共助）を改めて確認しておかなければなりません。

社協では

風水害等一般災害や地震災害発生時に、社協職員が早急かつ円滑に実効性のある支援活動を実施するために、また、災害発生時だけでなく、復旧時、復興時、平常時において、地域福祉を進



める社協職員がどのように行動するのか、基本を明確にするための社協の対応マニュアルを作成しています。

また、ボランティアセンター大淀の一部の機能として、災害時には災害ボランティアが活躍します。

災害時こそ、日頃からの「地域力」がものをいいます。社協は、それぞれの地域における活動や住民の皆さんと協働して、日ごろから個々にできる備えとともに、地域において「お互いさま」の心を高められる取り組みを進められるよう計画を立てています。

今月には、社協内でマニュアルに基づいた災害時のコミュニケーションを実施します。また、今後は住民の方を交えた防災訓練も予定しています。

災害に備えた情報を今後も社協だよりで案内していきます。

H25年度赤い羽根共同募金額 平成25年12月5日現在

募金の種類	金額
戸別募金	1,275,600円
街頭募金	83,502円
職域募金	164,198円
学校募金	18,673円
合計	1,541,973円



共同募金にご協力 ありがとうございました

毎年、住民の皆様にはあたたかいご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

昨年10月1日～12月31日まで実施されました赤い羽根共同募金は、県共同募金会へ送金させていただきました。大淀町の地域福祉に使わせていただきます。

また、歳末たすけあい募金は、支援が必要な方が安心して新年を迎えられるように始まった運動で、民生児童委員さんを通じて、在宅寝たきり老人の方々に届けさせていた



街頭募金の様子

あんしん メール

～ 頼れる地域のサポーター～

みなさんこんにちは。気分がないうちに介護が負担となり、ストレスをためておられませんか。

●介護のストレスから

高齢者への暴力につながる悲しい事件が先日も報道されていましたが、それらの多くは、長年介護を一人で続けられてこられたことによる、介護の負担が招いたものでしょう。近年見られています。

抱え込まないで！介護の悩み、介護負担がストレスになります

No.1

●相談できる人はいますか

まずは、一人で抱え込まないようにすることが大切です。身の回りに介護や悩み事を相談できる人はいいますか？核家族化や近所づきあいの希薄化も進んでおり、気軽に相談できないのも介護の悩みの特徴です。また、家族に相談しても理解してもらいにくいということも

各相談窓口 (表1)

「認知症家族の会」

0120-294-456
(平日10時～15時)
0742-41-1026
(火・金10時～15時、土12時～15時)

「奈良県医療政策部 保健予防課がん対策係」

患者の会の紹介など

0742-27-8928

他、当センターでは様々な相談窓口を紹介しています。



●相談窓口がありません

最近では、病气などで同じ境遇の方が集まる団体が各地で結成されています。(表1)

もちろん、地域包括支援センターやケアマネージャーの方にも相談下さい。

●あんしんサポートでは (地域包括支援センター)

「家族介護者教室」や「出前講座」などでもお話ししますので、お気軽にご相談下さい。



たくみ 匠 ～地域で輝く元氣人～



木村 真子さん (大阿太)

今回は大正琴の伝統を引き継いでいるお薄者を紹介いたします。木村さんは、施設やイベントの訪問したり、また近年は大正琴をもっと多くの人に伝えていきたいと子供から大人まですべての対象にボランティアで講座を開かれています。

大正琴は大正元年に日本で生まれた楽器ですが、知らない人が多いため、もっと大正琴の魅力を知って欲しい、伝承教育として若者・子供たちに伝えていきたい、大正琴を通して世代間交流を図りたい、と活動されています。

匠のひと言

大正琴は、他では表現できない心に残る優しい音色があり、多くの方に感動と元気を与えることができます。また、大正琴は簡単にふれられる楽器です。

演奏を聴きたい方へはどこへでも駆けつけます。大正琴を弾いてみたい方もぜひ声をかけてください。



各種登記のことなら (相談 無料)

なかで 中出司法書士事務所

大淀町土田 八四一九 ライフ・コーナン横 JA 西部支店前
☎07747(五)26577

あとがき

明けましておめでとついでございます。

年の始まりにあたりそれぞれの願いや抱負をお持ちでしょうが、世の中が平和で穏やかな一年でありますようにとお祈りいたします。

私は、体置マイナス3kgを目標にこの一年頑張ります！

(もり)

